

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名:新潟県 土木部都市局 都市整備課

事業の名称:南魚沼都市計画道路

3・4・32号塩沢中通り線 整備事業

実施都市名:南魚沼市

事業目的

当該路線は、旧塩沢町の中心市街地を縦貫する、商業・業務施設の集積した重要路線である。かつては旧三国街道沿いの宿場町として栄え、歴史と文化のある商店街であったが、近年は郊外型の大型店舗の隆盛により停滞感を強めていた。また、歩道が未整備のため買い物客や通学児童にとって大変危険な状況であったため、街路整備による歩道の新設や電線類の地中化により、安全で安心な歩行空間を確保するとともに、地元商店街が旧三国街道の趣を再現するために取り組んだまちづくりと一体となった街路空間の創出を目的としている。

事業概要

事業名称:南魚沼都市計画道路 3・4・32号塩沢中通り線
整備事業

路線名:3・4・32号塩沢中通り線

事業箇所:新潟県南魚沼市塩沢

事業延長:450m

幅員:16.0m(車道3.0m×2 歩道3.5m×2)

事業費:33.2億円

事業実施期間:平成13年～平成21年

本事業は、地域によるまちなみづくりと一体となった街路事業であり、歩道舗装を石畳へグレードアップしたり、電線共同溝を整備するなど、景観に配慮した街路整備を行ったものである。

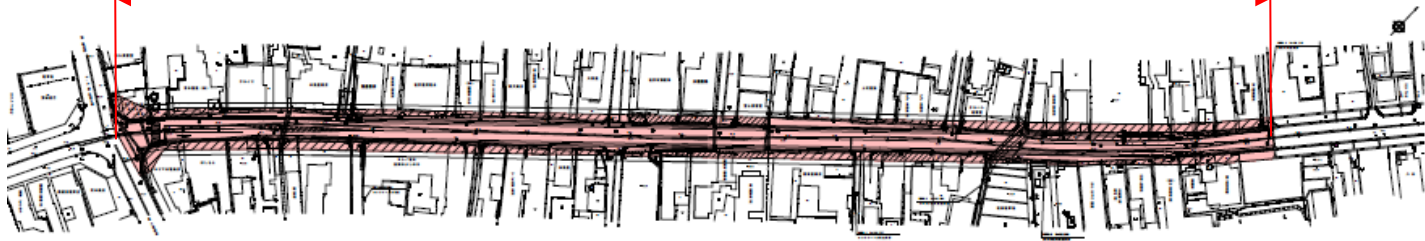
また、雪国の暮らしを日本で初めて紹介した文献「北越雪譜」の著者「鈴木牧之」生誕の地が塩沢であることから、当該路線は「牧之通り」と命名され、地域に親しまれるようになった。

事業位置図



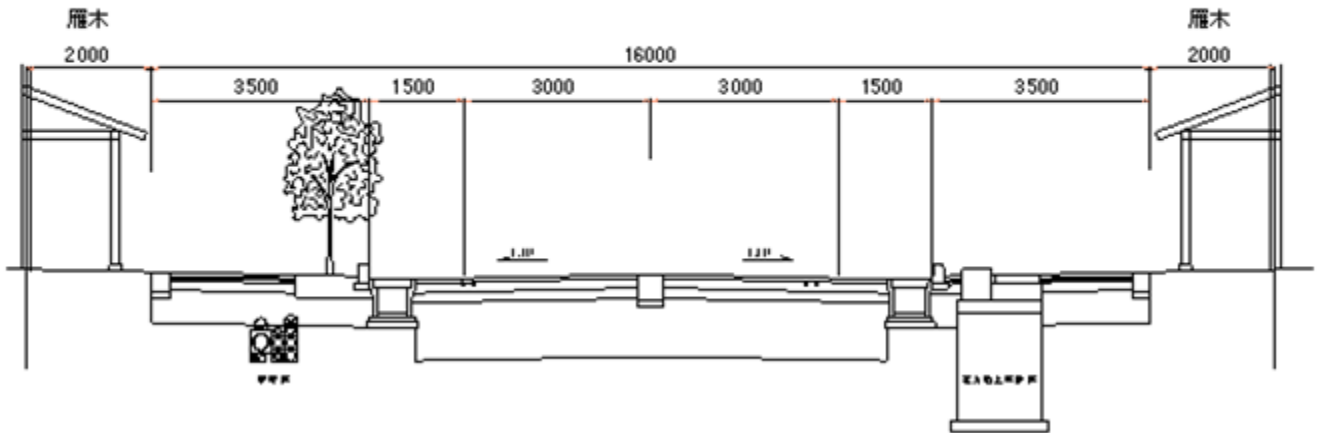
全体図(平面図・側面図・横断面図)

3・4・32号塩沢中通り線 L=450m



標準横断面図

幅員：W=6.0m(16.0m)+両側2mセットバックによる歩行者空間の整備



3・4・32号塩沢中通り線の整備効果アピール資料

「整備効果」

- ・歩道整備により、安全安心な歩行空間が確保された。
- ・冬期の積雪により、車両のすれ違いが困難であったが、道路幅員の拡幅により年間を通じて安全な交通が確保された。
- ・電線類の地中化や歩道部のグレードアップを行うことにより、沿道のまちなみ景観と調和の取れた街路空間が創出された。

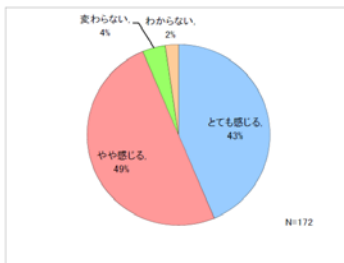
「その他の事業効果」

- ・街路事業が契機となり、沿道住民のまちづくりに対する意識が向上し、地元商店街を中心としたまちづくり組織「^{ほくし}牧之通り組合」が設立される。また、当該路線も「^{ほくし}牧之通り」と命名され、地域から愛着と誇りの持てる通りとして親しまれている。
- ・牧之通り組合により、雪国の歴史と文化を活かした「まちなみ協定」と「デザインルール」が策定され、統一感のあるまちなみ景観が創出された。
- ・当該路線に取り付く市道についても、南魚沼市が景観に配慮した道路整備を行ったことにより、奥行きのあるまちなみ景観が創出された。
- ・まちなみやまちづくり活動が評価され、地域住宅計画奨励賞やまちづくり功労者表彰を受賞。現在は全国各地から観光客や視察が^{しゃが}入っている。
- ・地元の女性陣により組織された「^{ほくし}射干の会」により、毎年冬に開催される、各家のお雛様を一般公開する「ひな雪見かざり」や、牧之通り開通イベント「千人着物茶会」、七夕の夜に町全体をライトアップするなど、整備された道路を活用したイベントが頻繁に行われるようになった。

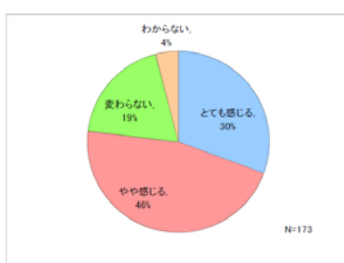
○沿道住民等のアンケート結果

92%が『にぎわいや活力が出てきた』と実感
76%が誇りに感じている

にぎわいや活力が出てきたと感じますか。



「郷土のシンボル」として誇りに感じますか。



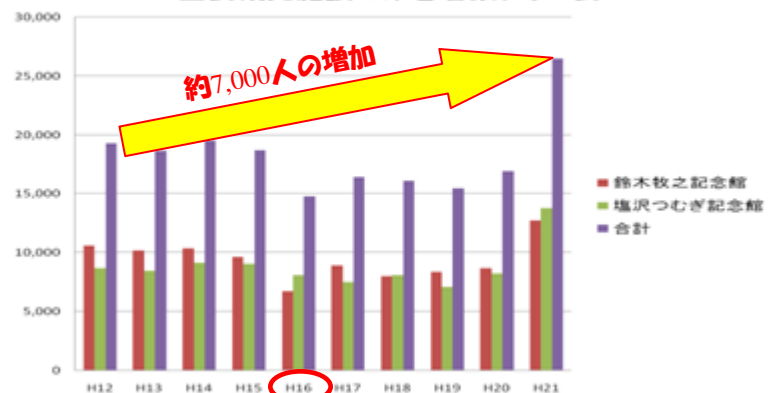
開通イベントの状況



○塩沢地区の主要観光施設来客数の増加

平成16年度の中越大震災以後、来客数が減少していたが、整備完了年度に来客数が増加した。

主要観光施設の来客者数グラフ表



事業前写真

平成12年12月撮影



平成12年12月撮影



平成13年1月撮影



事業後写真

平成21年12月撮影



平成21年11月撮影

平成22年2月撮影



平成22年5月撮影

平成22年5月撮影

